

# 2022年3月期 第2四半期決算説明資料

---

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2021年11月1日



1

全社のれん償却前営業利益は12億円、  
2020年3月期（コロナ禍前）を上回りV字回復。

2

全セグメントでのれん償却前営業利益が黒字化。

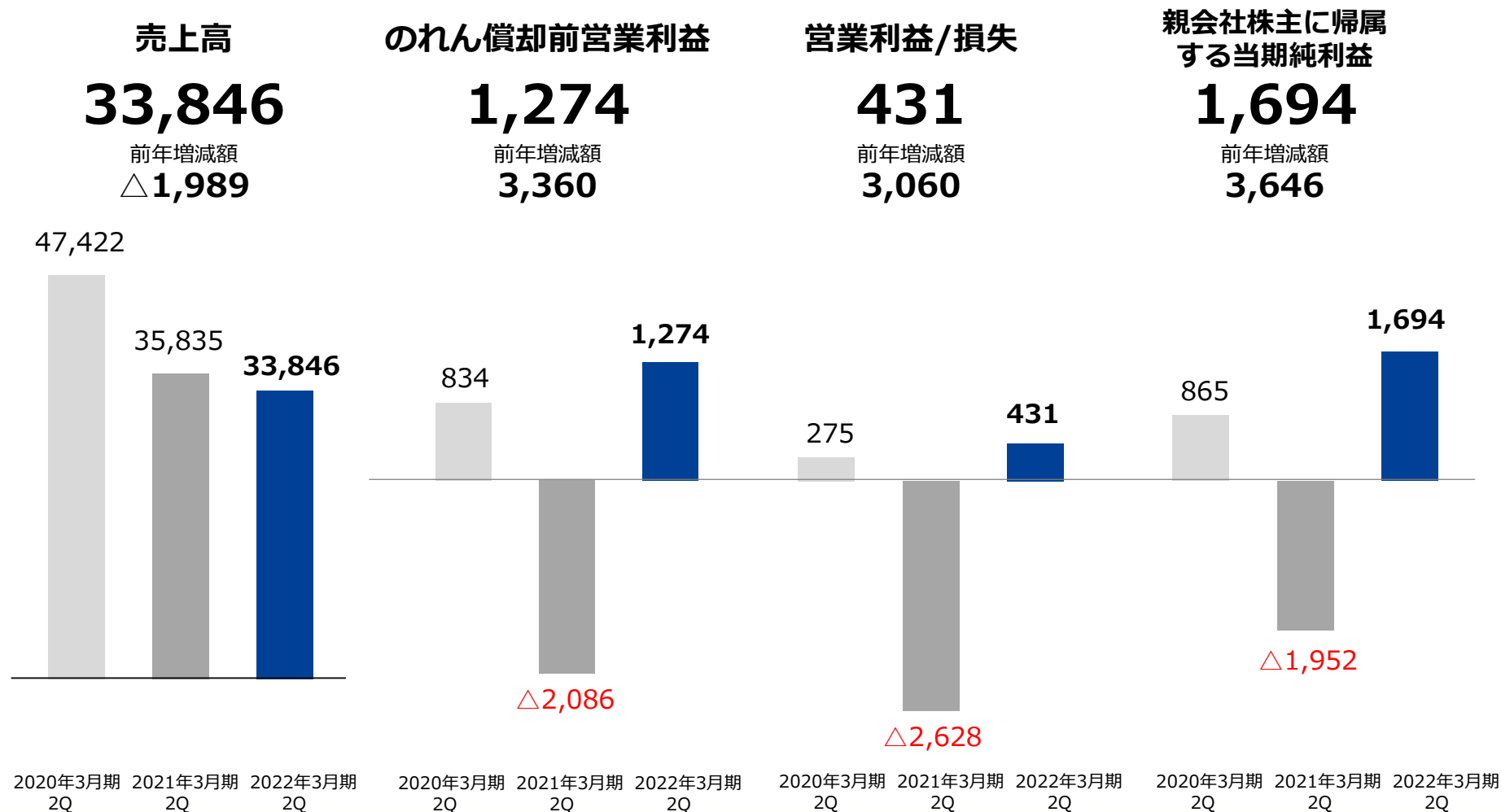
3

映像制作サービスは、国内・海外ともに黒字化、  
26億円の大増益。

# 第2四半期（累計）決算ハイライト

・ のれん償却前営業利益は12億円、2020年3月期（コロナ禍前）を4億円上回る

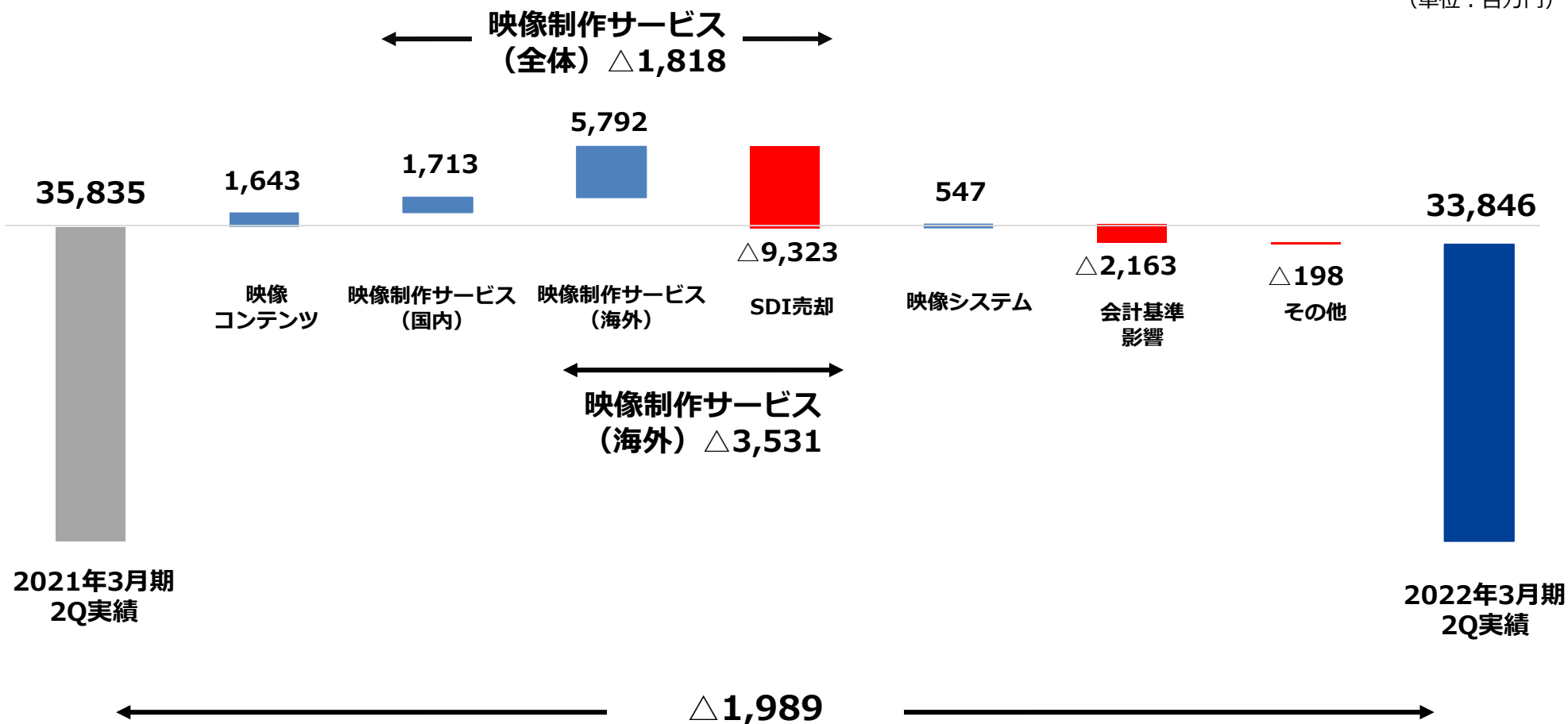
（単位：百万円）



# 売上高の増減分析（前年比）

・ SDI売却影響を除くと、全セグメント増収

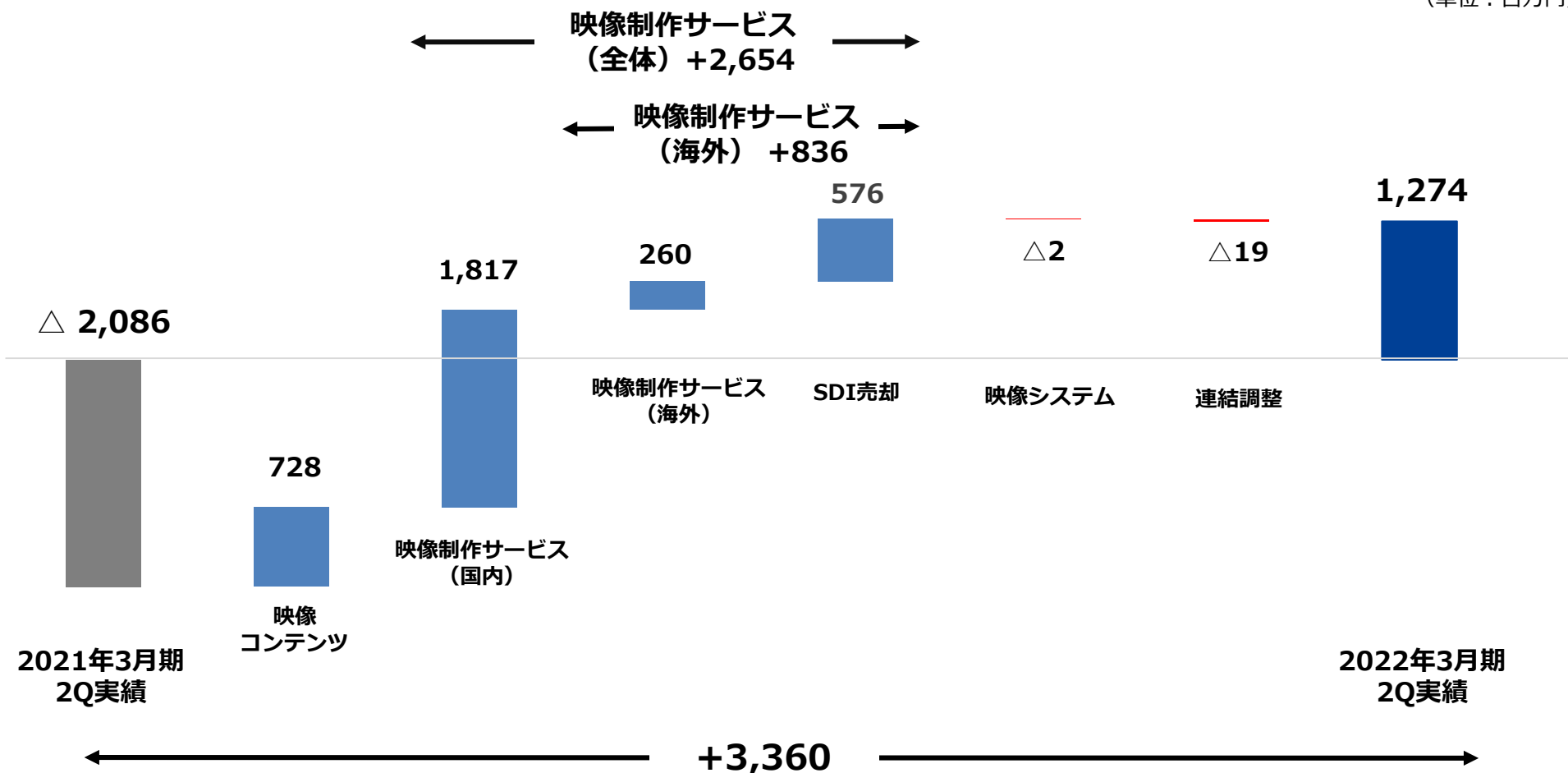
(単位：百万円)



# のれん償却前営業利益の増減分析（前年比）

- 映像制作サービス 26億円、映像コンテンツ 7億円、連結で33億円の大増益

（単位：百万円）



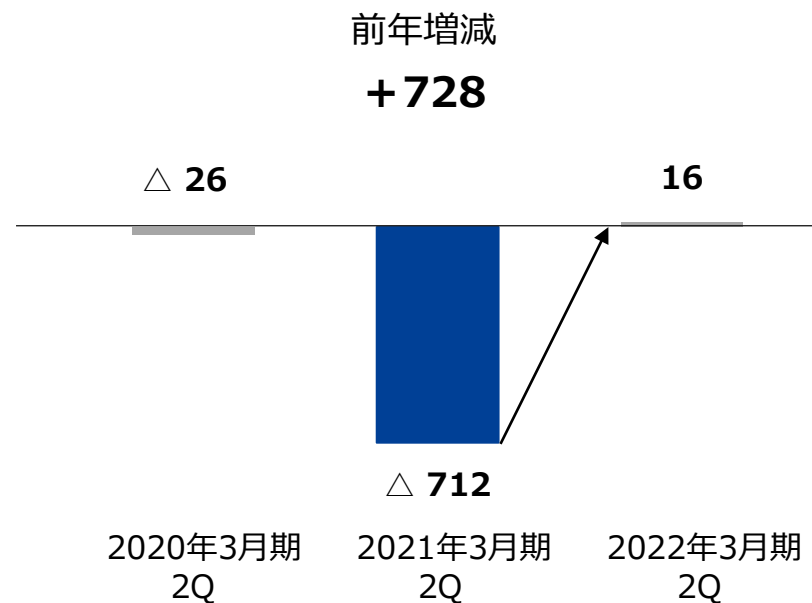
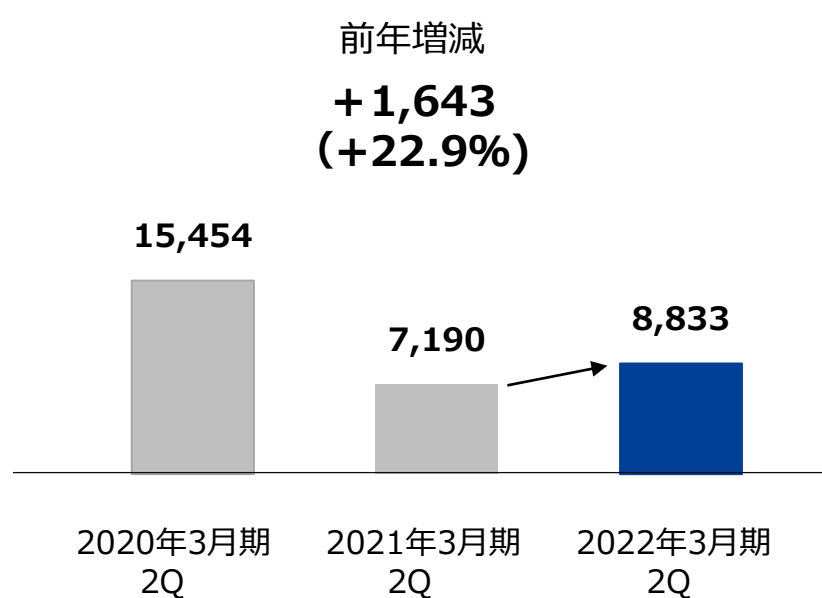
# 映像コンテンツ事業（第2四半期累計）

- ・ コロナ影響の緩和、受注回復等により収益が大幅に回復、2Qより黒字化

売上高

のれん償却前営業利益

(単位：百万円)



- ✓ 広告市場のコロナ影響からの回復によりCM制作の受注が回復
- ✓ 劇場映画作品・ドラマ・アニメーション作品も堅調に推移
- ✓ オンライン配信の音楽ライブやミュージックビデオの撮影の受注が好調に推移

# 映像制作サービス事業（第2四半期累計）

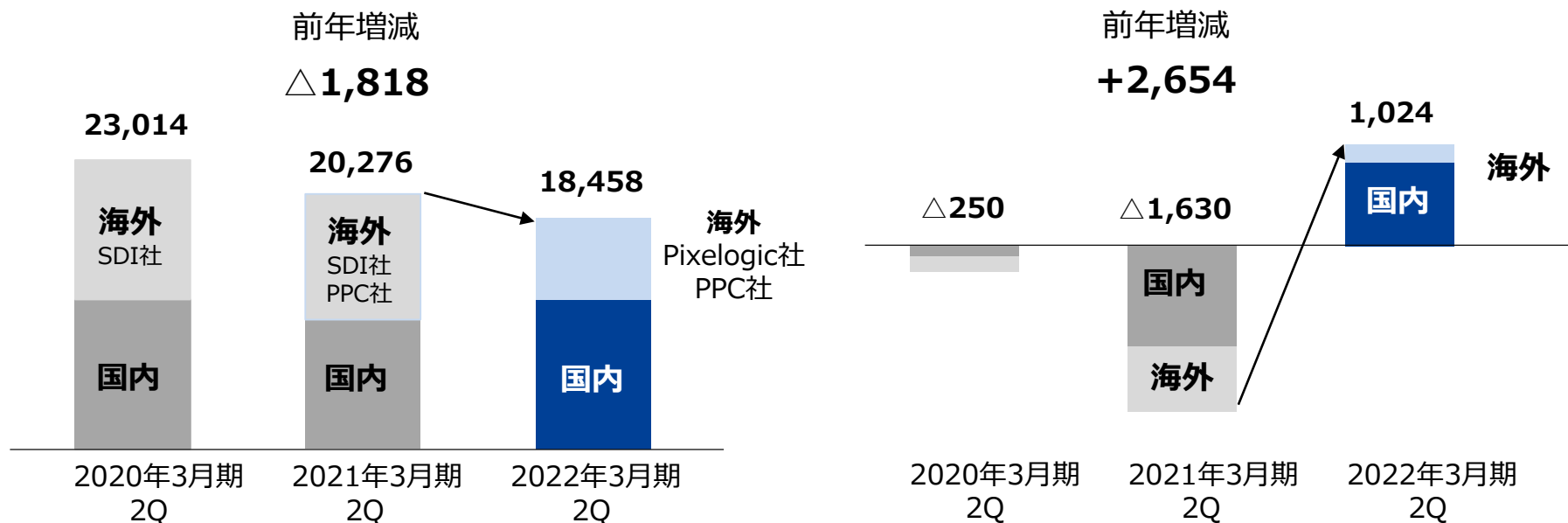
## ・グローバルE2Eサービス\*1の好調、国内の構造改革\*2等により大幅増益

売上高

のれん償却前営業利益

(単位：百万円)

数値は国内・海外の合算



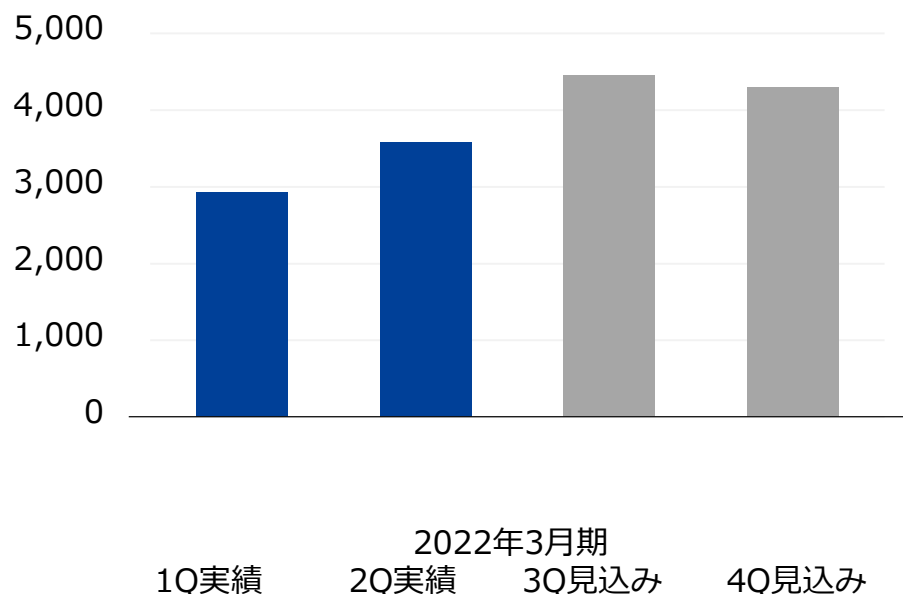
- ✓ 国内では動画配信事業者\*3向けのグローバルE2Eサービス\*1が好調。劇場映画、ドラマシリーズ、アニメーション作品やTVCM向けのポスプロが堅調。大型イベント案件の受注や構造改革効果\*1もあり利益は大幅に改善。
- ✓ 海外では欧米におけるコロナ影響でPPCの映画予告編制作は低調も、Pixelologicの動画配信事業者\*3向けのローカライズ事業が好調に推移。

# 映像制作サービス（海外） 四半期別業績見込み

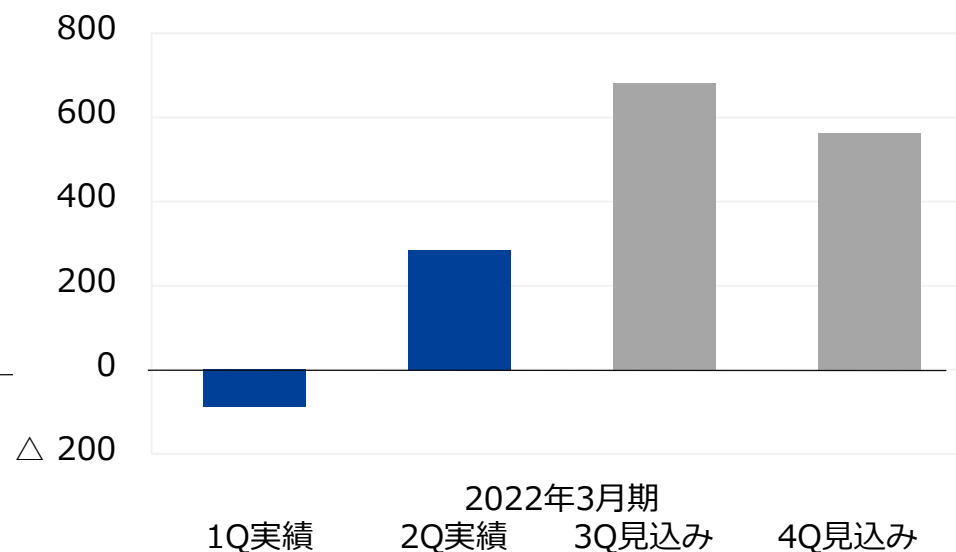
- 2Qは見込み通り黒字化、3Qは増益見込みで成長と収益性に手応え

(単位：百万円)

売上高



のれん償却前営業利益



- ✓ 動画配信事業者\*<sup>3</sup>向けのサービスは3Q以降も受注が好調に推移の見込み
- ✓ Pixelogicの3Q以降は新作公開の再開により収益アップを見込む

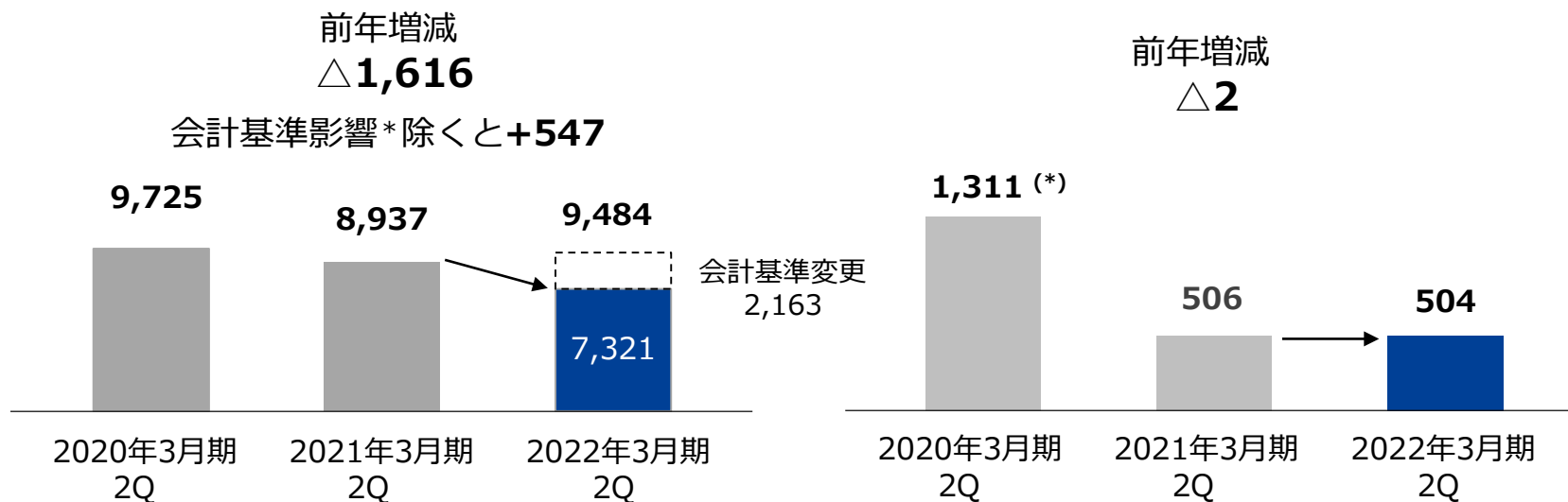


## ・会計基準変更影響\*4を除くと5億円の増収

売上高

のれん償却前営業利益

(単位：百万円)



- ✓ CMオンライン送稿\*5はマーケットニーズ拡大により販売が引き続き好調
- ✓ ハイスピードカメラは国内での販売苦戦が続くも、アジア・欧米は回復
- ✓ 映像・画像処理LSI売上は国内および海外の販売が好調に推移

\*会計基準変更影響：モバイル通信回線売上を純額で計上したことによる影響

\*子会社のセグメント変更により、2021年3月期1Qの「映像システム事業」の売上高、営業損益には株式会社イマジカ・ライブを加えております。

# 2022年3月期 通期業績予想

(百万円)	2021年3月期	2022年3月期				
	実績	5/13開示 業績予想	前年 増減額	通期予想	5/13開示 増減額	5/13開示 増減率
売上高	<b>86,727</b>	75,000	△11,727	<b>75,000</b>	0	0%
営業利益	△ <b>1,084</b>	1,500	2,584	<b>1,500</b>	0	0
(営業利益率)	(%)	(2.0%)	-	<b>(2.0%)</b>	-	-
経常利益	△ <b>1,343</b>	1,300	2,643	<b>2,000</b>	*1 700	53.8%
親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失	<b>3,454</b>	800	△2,654	<b>2,000</b>	*2 1,200	150.0%
1株当たり当期純利益又は純損失(円)	<b>77.89</b>	18.02	△58.87	<b>45.06</b>	27.04	150.0%
のれん償却前営業利益	<b>320</b>	3,100	2,780	<b>3,100</b>	0	0

\* 1. 経常利益の増額理由 : PixelogicにおけるCOVID-19政府支援策を活用した融資の債務免除により約640百万円の助成金収入を2Qで計上(詳細は[2021年8月3日に開示したリリース](#)をご参照)

\* 2. 当期純利益の増額理由: 関係会社株式売却益357百万を1Qで計上、投資有価証券売却益395百万円を2Qで計上(詳細は[2021年7月12日に開示したリリース](#)をご参照)

# Appendix.

# 連結損益計算書

(単位：百万円)	2021年3月期2Q		2022年3月期2Q	
	実績	実績	前年増減額	前年増減比
売上高	35,835	33,846	△ 1,989	△5.6%
売上総利益	7,621	9,858	2,237	29.4%
(売上総利益率)	21.3%	29.1%		
営業利益/損失	△ 2,628	431	3,060	—
(営業利益率)	—	1.3%		
経常利益/損失	△ 2,928	999	3,928	—
(経常利益率)	—	3.0%		
特別利益	123	793	670	543.9%
特別損失	118	237	118	99.8%
税金等調整前当期純利益/損失	△ 2,924	1,555	4,480	—
親会社株主に帰属する当期純利益/損失	△ 1,952	1,694	3,646	—
(参考)のれん等償却前営業利益	△ 2,086	1,274	3,360	—

※のれん等償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)		2021年3月期末	2022年3月期2Q末	前期比	主な増減要因
資産の部	流動資産	30,440	33,286	2,845	現金預金 △494 受取手形、売掛金及び契約資産 △1,473
	うち現預金	6,908	6,414	△ 494	たな卸資産 +4,818 その他 △26
	固定資産	30,005	31,247	1,242	投資有価証券 △550 関係会社株式 △636
	うちのれん	12,048	12,363	314	繰延税金資産 +424
資産合計		60,446	64,533	4,087	
負債・純資産の部	流動負債	22,117	24,196	2,079	支払手形及び買掛金 +1,485 短期借入金 △2,197
	うち短期借入金	7,402	5,205	△ 2,197	未払法人税等 +53 前受金 △2,811
	固定負債	8,495	7,753	△ 742	
	うち長期借入金	5,384	4,590	△ 794	長期借入金 △794
	負債合計	30,613	31,950	1,337	
	株主資本	27,149	28,935	1,786	(参考) 自己資本
	その他包括利益累計額	301	881	580	2021年3月期末 27,450 (45.4%)
	新株予約権	11	11	—	2022年3月期2Q 32,583 (46.2%)
非支配株主持分	2,370	2,754	383		
純資産合計		29,832	32,583	2,750	
負債純資産合計		60,446	64,533	4,087	
ネット資金		△ 5,878	△ 3,382	2,496	(現預金－長短期借入金)

# セグメント別総括

(単位：百万円)		2021年3月期2Q	2022年3月期2Q		
		実績	実績	前期比増減	前期比増減率
映像コンテンツ事業	売上高	7,190	8,833	1,643	22.9%
	営業利益/損失 (営業利益率)	△ 712 —	13 0.2%	726	—
	のれん等償却前営業利益/損失	△ 712	16	728	—
映像制作サービス事業	売上高	* 20,276	18,458	△ 1,818	△9.0%
	営業利益/損失 (営業利益率)	△ 2,172 —	202 1.1%	2,374	—
	のれん等償却前営業利益/損失	△ 1,630	1,024	2,654	—
映像システム事業	売上高	* 8,937	7,321	△ 1,616	△18.1%
	営業利益 (営業利益率)	506 5.7%	486 6.6%	△ 20	△4.1%
	のれん等償却前営業利益	506	504	△ 2	△0.6%
その他	売上高	△ 568	△ 766	△ 198	—
	営業損失	△ 250	△ 270	△ 19	—
連結合計	売上高	35,835	33,846	△ 1,989	△5.6%
	営業利益/損失	△ 2,628	431	3,060	—
	のれん等償却前営業利益/損失	△ 2,086	1,274	3,360	—

\*子会社のセグメント変更により、2021年3月期2Qの「映像制作サービス事業」「映像システム事業」「その他」の数値を変更しております

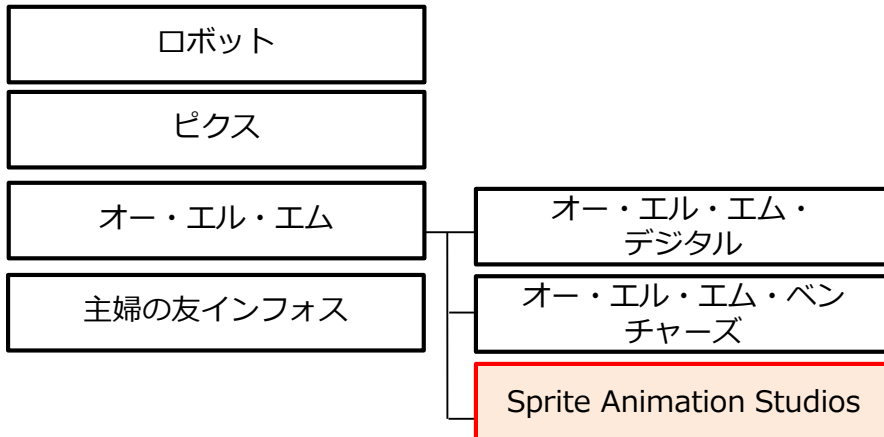
# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q
税金等調整前当期純利益	△ 2,924	1,555
減価償却費	1,308	939
のれん償却額	293	690
投資有価証券売却損益	-	△ 414
関係会社株式売却損益	-	△ 357
売上債権及び契約資産の増減額	4,871	2,938
棚卸資産の増減額	△ 1,098	△ 4,508
仕入債務の増減額	△ 1,755	600
契約負債の増減額	2,217	2,626
法人税等の支払額	△ 1,466	△ 90
その他	△ 1,546	△ 1,302
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 98</b>	<b>2,679</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 606	△ 1,373
無形固定資産の取得による支出	△ 361	△ 402
投資有価証券の売却による収入	5	944
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	357
敷金及び補償金の差入による支出	△ 9	△ 526
その他	△ 262	△ 70
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,235</b>	<b>△ 1,069</b>
短期借入金の純増減額	2,677	△ 897
長期借入れによる収入	434	-
長期借入金の返済による支出	△ 1,230	△ 1,346
その他	△ 1,961	75
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 79</b>	<b>△ 2,169</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 54	66
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 1,468</b>	<b>△ 492</b>
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	-	48
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>5,859</b>	<b>6,413</b>

# 事業セグメント別 連結子会社一覧（2022年3月期）

## 映像コンテンツ事業

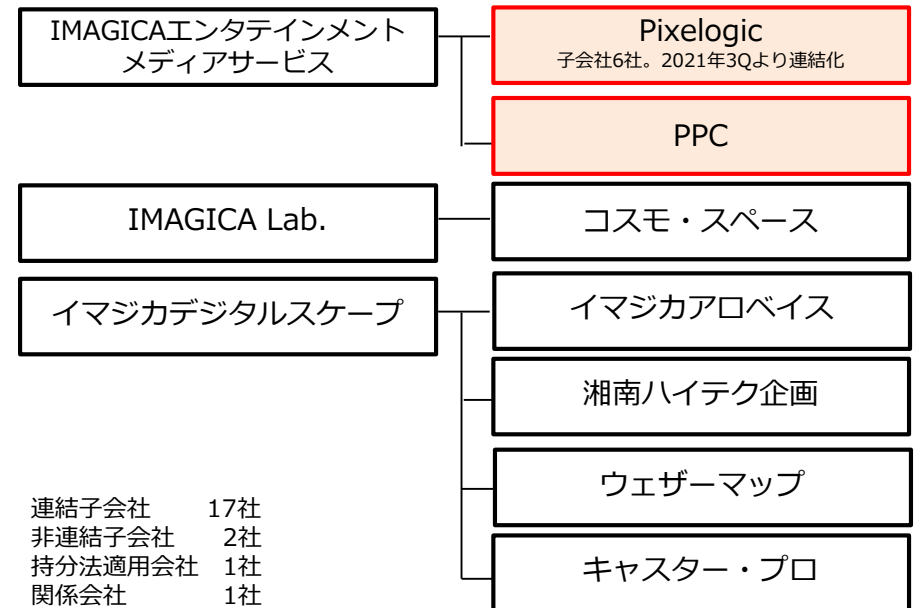
映画、アニメ、CM、TVドラマ、プロジェクションマッピング等のエンタテインメント映像の企画・制作



連結子会社 8社  
非連結子会社 3社

## 映像制作サービス事業

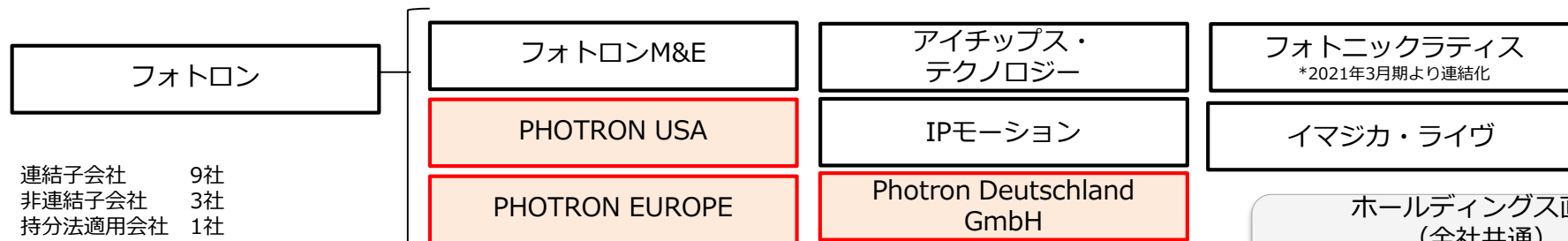
映像・音声編集、CG制作等の映像加工、字幕・吹替、配信・流通サービス、撮影、中継、ゲーム制作、人材派遣



連結子会社 17社  
非連結子会社 2社  
持分法適用会社 1社  
関係会社 1社

## 映像システム事業

放送局向け映像機器の設計～導入、ネットワーク回線を活用した映像伝送、映像編集クラウドシステム構築など映像システムソリューション全般。独自技術のハイスピードビデオカメラの開発製造事業CAD、画像関連LSI事業



連結子会社 9社  
非連結子会社 3社  
持分法適用会社 1社

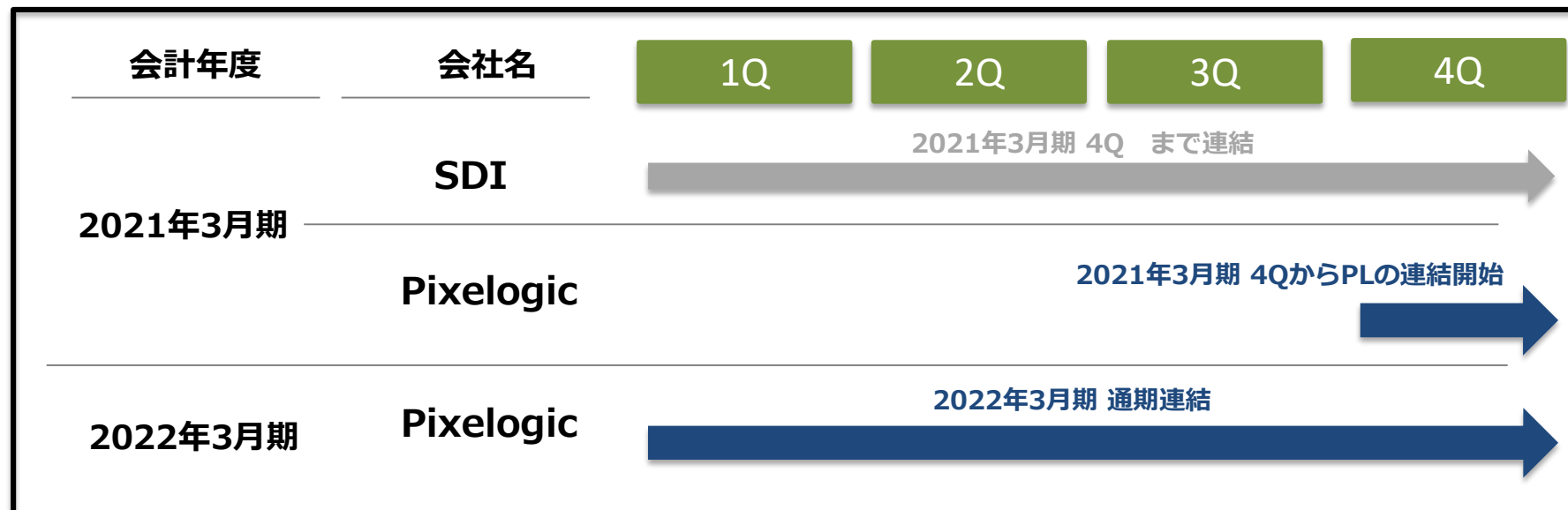
ホールディングス直轄  
(全社共通)  
IMAGICA EEX  
\*2021年3月期より連結化

\*赤枠は海外グループ会社



# (参考) 映像制作サービス事業での海外子会社の異動

- ✓ グローバルE2Eサービス\*1を展開するPixelogic社について、2021年3月期 4Qより損益の連結を開始
- ✓ SDI社については、2021年3月末に全株式を売却し、連結の範囲から除外



\* Pixelogic社は決算日が12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には、2021年1月1日～2021年6月30日の実績を反映

# (参考) のれん償却前営業利益の開示について

当第1四半期より、当社グループの実態により適合した経営状況をお伝えするため、「のれん償却前営業利益」を主要指標の1つとして開示しております。

(単位：百万円)	2022年3月期 2Q (累計)	2022年3月期 通期	新中期経営計画 「G-EST2025」
	実績	計画	目標
売上高	33,846	75,000	100,000
営業利益	1,274	1,500	
のれん償却前営業利益	431	3,100	8,000

のれん償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + M&Aに伴う無形固定資産償却

## \*1.グローバルE2Eサービス

End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称を指します。

## \*2.構造改革

本資料に記載されている構造改革は、[2021年1月22日付「新会社\(子会社\)設立と映像制作サービス事業の構造改革、グループ事業再編の実施及び当社と連結子会社の希望退職募集に関するお知らせ」](#)に記載のとおり、当社グループの持続的な成長並びに業績回復の実現を目的とし、映像制作サービス事業にて実施した希望退職を指します。

## \*3.動画配信事業者

インターネットを介したプラットフォームにて動画配信を行う事業者を指します。

## \*4.会計基準変更影響

会計基準変更により、映像システム事業におけるモバイル通信回線売上を純額で計上したこと等による影響を指します。

## \*5.オンライン送稿

オンライン上でテレビCM素材等を放送局へ搬入するサービス(フォトロンで提供しているサービス：C.M.HARBOR)を指します。

# 2021年7月～ 主なグループTOPICS

2021/08/11  
IMAGICA EEX

VR空間で東京ガールズコレクションを体験できるアプリ「バーチャルTGC(β版)」をW TOKYOと共同開発



2021/08/19  
IMAGICA EEX

ゲーム・映像・Webのクリエイティブ系のフリーランスの方々を支援する「フリーランスサポート」サービスを開始



2021/08/20  
コスモ・スペース

料理家 栗原心平が主宰する子供向けオンライン料理塾「ごちそうさまクッキングスクール」のプロモーション動画とカリキュラム動画の制作を担当



2021/08/20  
IMAGICAエンタテインメント

フィルムプロセススタッフが、一般社団法人 日本映画テレビ技術協会主催「第50回(2020年度)優秀制作技術賞」(旧柴田賞)を受賞



2021/08/23  
IMAGICAエンタテインメント

映画フィルムの予防保存に効果を発揮する酢酸ガス吸着剤「Cine Keep 2TM (シネキープ2)」のオンライン販売を開始



2021/09/27  
フォトロン

図面に携わるすべての人々へ 国産2次元CADソフトウェア『図脳RAPIDPRO21』『図脳RAPID21』を10月27日より発売



2021/09/28  
コスモ・スペース

「MIYAVI Virtual Live 6.0 in 京都・清水寺MIYAVI in KIYOMIZU」にて、撮影、コンテンツディレクションを担当



2021/10/12  
ROBOT

Netflixオリジナルシリーズ『今際の国のアリス』が、アジアコンテンツアワードにて最優秀Creative Beyond Border賞を受賞



# お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒105-0022 東京都 港区 海岸 1-14-2

Email : [ir@imagicagroup.co.jp](mailto:ir@imagicagroup.co.jp)

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

## 【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。